



進路通信 最終号  
令和5年3月7日  
バンコク日本人学校  
進路指導部



～「進路選択」(通過点)の先にある、「将来」をみつめて～

## 今年度の進路指導を振り返って

今年度は、年間を通じて通常登校が可能となり、進路関係の動きについても徐々にコロナ禍以前の状態に戻ってきた1年でした。進路説明会や個別面談も対面で実施することができ、学校と家庭との情報共有を円滑に進めることができました。今年度の9年生の進路決定までのおおまかな流れを以下にまとめましたので、7・8年生をはじめ、進路選択を控える皆様のご参考になればと思います。

### 【9年生の進路決定までの流れ】

進路決定までの動き		備考 行事・その他	
4月	第1回進路希望調査	5月	第1回実力テスト(志望校判定あり)
5月	第1回進路説明会	6月	第1回定期テスト(6/30～7/1)
6月	第2回進路希望調査		
7月	第1回個別面談		
9月	第2回進路説明会・第3回進路希望調査 年内入試準備・年内推薦申込締め切り	9月	第2回定期テスト 模擬面接①
11月	成績開示 第4回進路希望調査 年明け推薦申込締め切り 第2回個別面談(11/28～12/2)	10月	第2回実力テスト(志望校判定あり)
12月～	年明け入試準備	11月	第3回定期テスト 模擬面接②

## 令和4年度 9年生の主な進学先と入試・受験傾向

10月からの帰国生入試に始まり、3月中旬まで各都道府県の受験は続きますが、現時点で多くの9年生の進学先が決定しております。ここでは2月末現在の状況をお知らせします。

今年度の入試の傾向としては、昨年までオンラインで実施していた入試を海外入試(会場試験)に戻す動きが見られるなど、各校の対応もコロナ禍以前に戻りつつあります。海外会場入試の他、継続してオンライン入試・書類選考入試を行う学校もあり、帰国することなく受験ができる方式を利用するご家庭が多くありました。

また日本国内入試では各校が感染予防のガイドラインを公表したり、受験生に健康チェックの実施を求めたりと、様々な対策がなされていましたが、面接試験も予定通り実施されており、概ね以前の状況に戻りつつあります。

今年度の本校の受験傾向としては、タイ国内のインター校・現地校、日本・タイ以外の国で進学する生徒が全体の約1割いました。また、海外でもオンラインでの授業が受けられる私立通信制の学校の需要もここ数年安定して見られます。日本国内校への進学状況としては私立校への進学者数が全体の約半数を占めており、帰国生枠を利用した受験が多く見られました。また、公立高校希望者は全体の3割程度でした。

9年生の進学先(令和5年2月末現在)※まだ未定の生徒は除く



## 保護者の皆様へ

9年生の保護者の皆様、コロナ禍以前の状況に戻りつつあるとはいえ、この1年間は海外からの受験ということに加え、情報収集に始まり、受験校決定・出願・入試・手続きに至るまで多くのご苦労があったことと思います。進路選択には生徒自身の努力はもちろん、ご家庭の支えが欠かせません。様々な場面でご協力いただき、ありがとうございました。

また、7・8年生の保護者の皆様にも Google Classroom 等を通じて情報提供をさせていただきました。次年度向けの説明会についても順次始まりますので、継続して情報発信をしていきたいと思っております。興味のある志望先については早めに説明会等に参加し、情報収集されることをお勧めします。また、普段から卒業後の進路や将来への展望などについてお子様と話し合う時間をもつていただくことで、よりよい進路選択につなげていただければと思います。

最後になりましたが、この1年間ご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

## 9年生から後輩たちへの進路選択アドバイス

9年生から、進路選択の経験を踏まえて、後輩たちへのアドバイスを書いてもらいました。これから進路について考えていく中では是非参考にして欲しいと思います。

### ① 学習面でのアドバイス

- ・ 資格は早めに取得しておいた方が有利になります。自分も高校に入るためには英検準2級が必要だったので、早めに取得すべきだと思いました。
- ・ 一番最初に去年の過去問を解く。(形式が変わっているかもしれないから。)
- ・ 個人で違うけど、まず得意な教科を作った方が良いと思う。そうしたら他の教科により集中できるし、精神的に楽になる。もちろん、得意な教科を全く勉強しなくていいというわけではない。
- ・ 二つあります。一つは英語に早いうちから力を入れ、先取りすることです。英単語はできるところまでどんどん進めたり、英語で長文を読んだり、日頃からコツコツやっておくと後々すごく楽で、定期テストなどで英語に費やす時間を他教科にあてることができます。英語は日常から触れておくと、他より伸びやすい教科なのでおすすめです。二つ目は、机に向かう習慣をつけることです。中3になって勉強量が一気に増えるので、慣れておくとストレスなく勉強を進めることができます。
- ・ 暗記物などは空いている時間にやる。特に理科・社会・英語。
- ・ 1教科に1冊のテキストをやりこんだ方がよい。
- ・ その日によってスケジュールを立ててノートに書く。どのくらい時間を有効に使えたのか分かる。
- ・ 受験直前に必死で勉強に取り組むより、毎日短時間でもいいから、一日一日少しずつ勉強していくのを長期間続けることが大切！！苦手な教科は早いうちから基礎を固めていくと、応用にも早く取り組めるから後回しはダメ。
- ・ 分からないところは放っておかず、こつこつと勉強するといいと思う。
- ・ 中1のはじめのテストからコツコツわからないところをなくして、受験の時には振り返りだけにできたら心の余裕ができると思います。
- ・ 夏休みの段階で自分の苦手を知る。苦手分野から逃げずに立ち向かう。常にタイマーで時間をはかって本番と同じ気持ちで解く。
- ・ 授業でやったところで分からなかったり、疑問に思ったところを先生に聞き、次に似た問題が出てきたときにできるようにする。一つ一つの授業を大切に！
- ・ まず中1～中3の授業をしっかり受けること！！中3から難しい問題を解く時に中1から学んできた基本が本当に大切になる。

### ② 進路先(志望校等)選択についてのアドバイス

- ・ まずは自分と向き合って自分のやりたいことを知りましょう。そこから自分のやりたいことがある進路先に進みましょう。
- ・ 偏差値で選ばない。行きたい高校に行く。やりたいものがある学校に行く。
- ・ 自分のレベルにあった学校。自分の偏差値でギリギリ入れた学校よりも少し余裕を持てる高校を選んだ方がいい。
- ・ この学校の生徒は、日本の生徒よりも選択の幅が大きく違うと思います。その分、多く悩むことも必ずあります。ですが、これを良い所ととらえて、たくさん学校の目を向けてください。必ず自分に合った学校を見つけられるよ！
- ・ どこへ行くのか(住むのか)、寮に入るのか入らないのか、家との距離はどのくらいかなど、現実的な視点からまずは絞っていき、それから公式サイトを見て学校の教育方法や校風を知り、本当に行きたいと思ったところに行く。説明会もとてもいい。
- ・ 将来どうしたいかによって選ぶ。
- ・ やりたいことがなくても、一つは絶対に自分で志望校を決めること！！



### ③ 生活面・入試に向けて その他のアドバイス

- ・ 生活面では、「睡眠」を特に大事にしてほしいです。睡眠時間が短いと、集中力が切れやすくなったり、勉強効率が悪くなって、長時間ダラっとしてしまい、その時間では終わらなくなって睡眠を削る・・・という悪循環になっていきます。
- ・ 入試前日は路線情報をチェックして、万が一問題が起きたときの迂回ルートを作ることをおすすめします。私は、当日電車が遅延してしまい、迂回ルートで会場まで行きました。
- ・ 受験の前日はキツキツに勉強するのではなく、ゆっくりと気持ちを落ち着かせるようにしていました。
- ・ 勉強も大事ですが、休憩も大事です。
- ・ 自分は面接と自己PR文だけだったのですが、自己PR文は余裕を持って早め書いておいた方が心に余裕が生まれるのでいいです。面接は予想される質問を書いてみたり、先生などをお願いして何度も練習するといいです。